

参加無料

デロイト トーマツ 統合報告セミナー

「企業と投資家との対話」における 統合報告書と ESG 情報開示の活用について

主催: 有限責任監査法人トーマツ
ESG・統合報告アドバイザー

年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が環境・社会・ガバナンス(ESG)投資を推進しているように、国内機関投資家にとっても投資判断における ESG 情報の重要性は高まっています。この流れを受けて、日本企業の ESG 情報の開示も、環境や CSR 活動の報告から、ESG 機関投資家の視点を意識した情報(重要課題の設定(マテリアリティの特定)、重要課題のトピックスの説明など)へと広がり、統合報告書の作成を後押ししています。その一方で企業の中には、統合報告書に機関投資家との対話に必要な情報が含まれているのか、機関投資家との間に開示情報の質、量に関する期待ギャップは生じていないのか、機関投資家に読まれる統合報告書になっているのかという問題意識も高まっています。

本セミナーでは、このような企業の問題意識に答えるべく、IR 活動の強化や共創経営レポートの作成などが高く評価され、2016 年度「IR 優良企業特別賞」(主催: 一般社団法人日本 IR 協議会)を受賞された株式会社丸井グループ 代表取締役社長 青井浩氏による基調講演や、企業と機関投資家との対話に資する統合報告書、ESG 情報開示の活用につき、機関投資家と議論するパネルディスカッションをご用意しました。

ご多忙とは存じますが、この機会に是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

- 開催日時 2017 年 10 月 3 日(火) 14:00~17:00 (受付開始:13:30)
※ 会場の都合により受付開始時間より前に入場できない可能性がございますので予めご了承下さい。
- 会場 大手町サンケイプラザ 4 階ホール
(〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-7-2)
- 対象者 経営企画部門/IR 部門/CSR 部門/財務・経理部門の執行役員、責任者様
- 定員 200 名
※ 同業他社の方、および個人の方のお申込はお断りさせていただく場合がございます。
- 受講料 無料
- 申込方法 Web サイト(<https://www2.deloitte.com/jp/semi3906>)よりお申込ください
※ 本セミナー申込に際しては、株式会社シャノンのサービスを利用しています。ご回答いただく内容は、SSL 暗号化通信により内容の保護を図っております。
※ お申込は 1 名様ずつのご登録が必要となります。
※ 過去にデロイト トーマツ グループ各社のセミナーにお申込いただいた方、または現在当グループのメールマガジンをご購読いただいている方は、ご登録済みの ID・パスワードでお申込いただけます。
※ 受講者の方へは、セミナー開催 1 週間前を目安に受講票のご案内メールをお送りいたします。
当日は受講票と名刺をお持ちの上、ご来場下さい。

■ プログラム

開催時間	内容	講師
14:00～14:05	開会のご挨拶	有限責任監査法人トーマツ ESG・統合報告アドバイザー パートナー 達脇 恵子
14:05～14:55	【基調講演】 丸井グループの共創経営レポート における、統合報告の考え方	株式会社丸井グループ 代表取締役社長 青井 浩 氏
14:55～15:05	休憩	
15:05～16:45	【パネルディスカッション】 「企業と機関投資家との対話」における、 統合報告書と ESG 情報の活用	〈パネリスト〉 株式会社丸井グループ 代表取締役社長 青井 浩 氏 日興アセットマネジメント株式会社 チーフストラテジスト 神山 直樹 氏 ニッセイアセットマネジメント株式会社 チーフ・コーポレート・ガバナンス・オフィサー 株式運用部 担当部長(投資調査室)、ESG 推進室長 井口 譲二 氏 有限責任監査法人トーマツ ESG・統合報告アドバイザー ディレクター 貝沼 直之 〈コーディネーター〉 RIDEAL 株式会社 代表取締役 米国会計士(カリフォルニア州) 三代 まり子 氏
16:45～16:55	質疑応答	
16:55～17:00	閉会のご挨拶	有限責任監査法人トーマツ ESG・統合報告アドバイザー ディレクター 貝沼 直之

※講演テーマ・講師は変更となる場合がございます。予めご了承ください。

■ 登壇者プロフィール

講師	プロフィール
 <p>青井 浩氏 株式会社丸井グループ 代表取締役社長</p>	<p>1986年株式会社丸井(現:株式会社丸井グループ)入社、常務取締役、副社長等を経て、2005年4月より代表取締役社長に就任。丸井グループは、小売事業とフィンテック事業を両輪とした事業展開で、お客様に豊かなライフスタイルを提供する企業グループ。すべてのステークホルダーと進める「共創経営」の実践により、様々なビジネスモデル革新に取り組む。</p> <p>米国金融専門誌「Institutional Investor 誌」による2016年の「日本のベストIR企業ランキング」においては、小売業 Best CEO カテゴリーで、セルサイド部門1位、バイサイド部門3位にランクイン。</p>
 <p>神山 直樹氏 日興アセットマネジメント株式会社 チーフストラテジスト</p>	<p>2015年1月に日興アセットマネジメントに入社、現職に就任。1985年、日興証券株式会社(現 SMBC 日興証券株式会社)にてそのキャリアをスタート。日興ヨーロッパ、日興国際投資顧問株式会社を経て、1999年に日興アセットマネジメントの運用技術開発部長および投資戦略部長に就任。その後、大手証券会社および投資銀行において、チーフ・ストラテジストなどとして主に日本株式の調査分析業務に従事。投資家フォーラムおよびスチュワードシップ研究会の運営委員。</p>
 <p>井口 譲二氏 ニッセイアセットマネジメント株式会社 チーフ・コーポレート・ガバナンス・オフィサー 株式運用部 担当部長 (投資調査室)、 ESG 推進室長</p>	<p>ニッセイアセットマネジメントで、金融・素材などの証券アナリスト業務、投資調査室長を経て現職。アナリストリサーチの統括とスチュワードシップ活動の責任者。ICGN理事、日経アニュアルリポートアワード最終審査委員、「持続的な価値創造に向けた投資の在り方検討会」委員(経済産業省)、IR優良企業表彰委員(日本IR協議会)、企業会計基準委員会専門委員(企業結合・ディスクロージャー)等を務める。</p> <p>主な著書に、『スチュワードシップとコーポレートガバナンス』(共著、東洋経済)、『コーポレートガバナンス・コードの実践』(共著、日経BP)、『新しい時代の証券アナリストの役割』(証券アナリストジャーナル、2013年5月号)</p>
 <p>三代 まり子氏 RIDEAL 株式会社 代表取締役 米国公認会計士 (カリフォルニア州)</p>	<p>統合報告エキスパートとして、上場企業の統合報告に関するアドバイザーを行う。元国際統合報告評議会のテクニカルマネージャー(2011年~2013年)として、企業報告に関する国際的な開示の枠組み(国際統合報告フレームワーク)および Connectivity Background Paper の開発に関与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米国公認会計士 ・WICI Intangibles Reporting Framework の Technical Lead ・早稲田大学商学学術総合研究所 WBS 研究センター招聘研究員。 <p>(主な執筆活動)</p> <p>『国際統合報告<IR>フレームワークの特徴と課題』 企業会計(中央経済社) 2014/5、『国際統合報告評議会における統合報告の役割~「金融の安定化」と「持続可能性」の両立に向けて~』 経済経営研究 Vol.35 No.1(日本政策投資銀行)2014/7</p>
 <p>達脇 恵子 有限責任監査法人トーマツ ESG・統合報告アドバイザー パートナー デロイト トーマツ サステナビリティ株式会社 代表取締役社長</p>	<p>これまでに ESG(環境・社会・ガバナンス)、リスクマネジメント、内部統制などの各種ガバナンス関連のコンサルティングに従事。現在はデロイト サステナビリティ 日本統括責任者としてクライアントの ESG 領域における取り組みを支援している。2017年2月からデロイト トーマツ サステナビリティ株式会社の代表取締役社長を務める。</p> <p>主な実績は CSR レポート・統合報告書の作成コンサルティングやマテリアリティ評価を含む CSR 戦略立案コンサルティング、およびその企業戦略への組み込み支援等。</p>
 <p>貝沼 直之 有限責任監査法人トーマツ ESG・統合報告アドバイザー ディレクター</p>	<p>生命保険会社にて、未上場企業株式調査業務、ファンドマネジャー兼アナリストとして日本株の運用・調査業務、年金クライアントサービス業務、経済企画庁(出向)にてエコノミストなどの業務を行う。外資系証券会社でセルサイド・アナリスト業務に従事。外食業にて、取締役広報室長兼コーポレートガバナンス室長として上場企業の経営に参画。小売業にて、理事執行役員 IR 室長として IR 業務の統括と経営企画業務の支援を行う。資本市場でのバイサイド、セルサイド双方の経験を有するほか、上場企業での取締役業務、IR 業務、コーポレートガバナンス業務、経営管理業務など、資本市場における包括的な経験を有す。</p>

- **会場**
 大手町サンケイプラザ
 4階ホール
 (〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-7-2)

<アクセス>

各線「大手町駅」下車 A4・E1 出口直結/ 丸の内線・半蔵門線・千代田線・東西線・都営三田線

東京駅から大手町サンケイプラザへの道順

- ① JR 東京駅で降りましたら、「丸の内北口」改札に向ってください。
- ② 改札を出てすぐの交差点を渡ってビル沿いに道なりに進んでください。
- ③ 次の交差点を渡って右折してください。
- ④ まっすぐ進んで信号 3 つ目左側ガラス張りの高層ビルが東京サンケイビルです。
(赤い大きなオブジェが目印です)
- ⑤ 大手町サンケイプラザの会場は 2~4 階になります。
1 階よりエスカレーターで 4 階までお上がりください。



■ **問い合わせ先**

有限責任監査法人トーマツ セミナー事務局
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-3-1 新東京ビル
 TEL: 03-6213-1515 E-mail: risk-seminar@tohmatu.co.jp
 ※Web よりお申込ができない場合は、セミナー事務局までご連絡ください。
 (受付時間) 平日 9:30~17:00

デロイト トーマツ グループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームであるデロイト トーマツ合同会社およびそのグループ法人(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイト トーマツ税理士法人、DT 弁護士法人およびデロイト トーマツ コーポレート ソリューション合同会社を含む)の総称です。デロイト トーマツ グループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスクアドバイザー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、税務、法務等を提供しています。また、国内約 40 都市に約 11,000 名の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト (www.deloitte.com/jp) をご覧ください。

Deloitte(デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド("DTTL")ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTL および各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または"Deloitte Global")はクライアントへのサービス提供を行いません。Deloitte のメンバーファームによるグローバルネットワークの詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。